

令和 4 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①確かな学力の向上(基礎学力・技術・技能の定着、魅力ある教育課程編成の実現)</li> <li>②生涯にわたる自分づくり(キャリア教育・シチズンシップ教育の充実)</li> <li>③命や人権を守る(命の授業・人権教育・安全教育の実践)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や学校運営協議会と連携して取組を進め、混乱なく新カリキュラムに移行する(①)</li> <li>○学校説明会、HPやSNSの配信等、広報活動を通して地域の中学生や保護者に本校の魅力伝える。(①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧カリキュラムが混在する状況下、丁寧確実な対応を行う。(①)</li> <li>・PTや教科代表者会議を活用しICT化の具体的な方法を授業に落とし込む。(①)</li> <li>・企業、地域など外部の知見や本校に対するニーズを的確に捉え実社会で求められる人材育成を行う。(②③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧カリキュラムが混在する状況下、混乱なく対応できたか(①)</li> <li>・Teamsを活用して業務のICT化を進め、系・クラス展開に関する議論を深めることができたか。(①)</li> <li>・外部機関との連携を通じて実社会で求められる人材を育成できたか。(②③)</li> </ul>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導・支援の充実(規範意識の定着、教育相談・部活動の活性化)</li> <li>②相互理解の促進(インクルーシブ教育の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会マナーの定着と規範意識の高揚を目指す。(①)</li> <li>○課題を抱える生徒の支援のために教育相談会議を活用し、情報共有を行い迅速で丁寧な対応を行う。(①)</li> <li>○生徒会行事や部活動への参加を促進し、様々な生徒活動を通して生徒の自己肯定感を高める。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装頭髪、遅刻指導等を継続して生徒の意識を高める。(①)</li> <li>・教育相談会議を通して教員間の情報共有に努め、課題を抱える生徒を全体で支援する。(①)</li> <li>・生徒会を中心に行事や部活動の活性化を図り、生徒同士の人間力を高める。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻数や服装指導対象者が今年度比で5%以上減少したか。(①)</li> <li>・生徒の課題を職員間で共有し、適切な支援を行えたか。(①)</li> <li>・部活動への生徒参加数が5%以上増加し、行事アンケートの結果、概ね満足と答えた生徒が80%を超えたか。(②)</li> </ul>					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路指導・支援の充実(進路ガイダンス・インターンシップ・職業教育等の充実)</li> <li>②社会性の育成(コミュニケーション・情報発信能力の向上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が「生涯にわたる自分づくり」に主体的に取り組むよう教員間での情報共有を推進する。(①)</li> <li>○外部講師を活用し社会の状況に適応した進路支援をする。(①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な進路指導を行い自らの目標を明確に持つことができるよう支援する。(①)</li> <li>・外部講師や地元企業によるガイダンスを実施し個に応じた進路支援を行う(①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織が相互に連携することにより、進路選択のミスマッチを防ぐことができたか。(①)</li> <li>・就業体験や高大連携事業を通してコミュニケーション能力を高めることができた</li> </ul>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
			○就業体験や高大連携事業を通し、コミュニケーション能力を高めるための支援に取り組む。(①②)	・就業体験や高大連携事業に参加させることで、早い段階から主体的に進路を考える姿勢を育む。(①②)	か。また、このことが、実際の進路決定場面で有用であったか。(②)				
4	地域等との協働	①地域連携・協働の推進(CSとしての取組みの推進・異校種間連携事業の推進) ②開かれた学校づくりの推進(ホームページ・ポスター・各種イベントの活用)	○専門高校の特徴を地元及び地区・地域に発信することで、本校への理解を深めてもらう。(②) ○ものづくりの高校として様々な取組みを広く公開し、地域と密着したイベントに参加し連携を深める。(①②)	・学校説明会を効果的に開催する。また魅力あるHPやパンフ・ポスターを作成し、SNSを活用した最新情報発信の充実を図る。(①②) ・ものづくりを通じた各種体験イベントを開催し参加者層の幅を広げる。(①②)	・各種イベントへの参加状況を精査し、参加者の反応が良好であったか。(①②) ・地区・地域の中学生や保護者に本校の魅力が伝えたか。また、参加者やHP、SNSアクセス数が増加したか。(①②)				
5	学校管理 学校運営	①信頼と期待に応える学校づくりの推進(学校運営の組織的な改善・不祥事防止研修) ②安心して快適な教育環境の整備(教員の働き方改革の推進・施設設備の充実) ③防災教育の推進(DIG・防災訓練による災害対応力の向上)	○職員一人ひとりが自覚を持って事故不祥事防止に努める。(①) ○ICT利活用授業推進事業をベースに教育環境の整備、充実を図り、安全で安心な学習環境を作る。(②) ○地域と連携した防災計画を再確認し、ともに協力しながら、生徒や職員全体の防災意識を高める。(③)	・不祥事防止研修や教育活動推進PT会議を活性化し、職員自らが課題意識を持って職場全体で取り組む。(①) ・各教科の授業でClassroomを有効に活用するため、校内研修の充実を図る。(②) ・PTAや地域と連携し、防災訓練やDIG訓練を実施し、生徒が主体的に行動できるように効果的な防災教育の実施に努める。(③)	・事故不祥事防止を徹底し、全体で解決に向けた取組を実践することができたか。(①) ・教育環境の整備を推進し、生徒が学び易い、職員が働き易いと感じることができたか。(②) ・地域防災という視点から、被災時に備えた実践的な対応について、生徒も職員も意識を共有することができたか。(③)				